連携提案一覧表

	1．団体に関する基本情報						2．連携したい取組に関する情報																		
No	団体名	団体の事業概要	団体が抱える課題	団体が提供可能な資源（団体が協力できること）	協力にあたっての要件（費用負担等）	団体の概要が分かる資料・HP	実施したい取組の名称	取組の概要	孤独・孤立対策に資する取組である説明	←その他の場合、自由記述	主な対象者	想定する参加人数	所要時間	希望する実施地域	希望する具体的な実施場所	自前で対応可能なこと	連携先にご協力頂きたいこと	ご協力いただくにあたっての確認事項（費用負担等）	希望する連携相手	その理由	希望する実施時期	担当	連絡先	取組の概要が分かる資料・HP	備考
1	生活協同組合パルシステム神奈川	神奈川県全域を拠点に、安全・安心な食品や日用品を届ける宅配事業などを行っている。産直野菜や環境に配慮した商品を取り扱い、組合員主体で食・農・福祉などの地域活動やNPO支援にも取り組んでいる。	・宅配以外の認知度が十分でない ・地域課題について組合員の自主的な参加をより促したい。	配送センターの会議室を地域に開放して開催している地域わくわくプロジェクト「みんなでゆっくりCAFÉ♪」（地域の居場所づくり）などとの連携	講師としての謝礼等のお支払いはございません。	https://www.palsystem-kanagawa.coop/	「みんなでゆっくりCAFÉ♪」	地域団体と連系した居場所づくり	①当該連携により、参加者同士、参加者と事業主体等との交流が図られることで、孤独・孤立の解消につながるため	様々な社会課題に取り組まれている団体の皆様との企画や学習会などもできればと思います。	当組合の組合員、県内の地域住民、県内の地域団体・企業	10～20名（各拠点による）	２時間程度	県内（パルシステム神奈川13センター）	県内（パルシステム神奈川13センター）	当日の運営、場所（センター内会議室など）や備品の提供	当日の運営、こちらが提供・準備できない備品の準備など	・講師謝礼、交通費等、費用負担はございません。講師の方には基本的にボランティアとしてご協力をお願いしております。営業行為にあたるような活動はご遠慮いただいております。	県内の団体、市町村、社協等	社会課題にそれぞれの強みをもってアプローチしており、それを共有していくことで課題解決が進められるため。	ご相談ください	島村聡子	045-470-6863 palkana-chiiki@pal.or.jp	https://www.palsystem-kanagawa.coop/event/detail/yukkuri-cafe-2/	
2	生活協同組合ユーコープ	1.店舗事業 神奈川・静岡・山梨を中心に、組合員向けのスーパーマーケット（お店）を運営し、日常の食とくらしを支えています。 2.宅配事業 「おうちCO-OP」として、食品・日用品を自宅へ届ける宅配サービスを展開しています。 3.配食（夕食宅配）事業 夕食宅配「マイシィ」により、栄養とおいしさに配慮した夕食を週3日または週5日、自宅へ届けています。 4.共済事業 組合員同士の助け合いを基本とした「CO・OP共済」など、くらしに必要な保障を提供しています。 5.福祉事業 訪問介護・通所介護など介護保険対象サービスや、福祉の相談窓口を運営しています。 6.商品事業 組合員の声を反映したオリジナル商品（コープ商品）の企画・開発・提供を行っています。 7.品質・安全 商品検査センターにおいて、微生物・放射能・残留農薬などの検査を行い、安全・安心を確保しています。 8.子育て支援 妊娠期から子育て期までを支える商品・サービスや、交流・学びの場づくりを行っています。	若い世代や子育て世代の参画が十分に広がっていない。 平和活動、フードドライブ、食品ロス削減など、ユーコープの社会的取り組みの認知度が低下傾向で、特に30代・子育て世代で認知・共感が弱い。 事業と活動、地域・行政・他団体との連携をより一体的に進める必要がある	・店舗、宅配センター、コミュニティルーム・集会室の提供 ・食、環境、福祉、子育て、平和、消費者教育などの実践知等	無料	https://www.ucoop.or.jp/profile/hello/rinen.html	1. 環境の取り組み 2. キッズ体験の取り組み	1. ユーコープでは、「人・社会・自然の調和」を大切にし、くらしの中から環境にやさしい行動が広がるよう取り組んでいます。具体的には、CO_2削減、食品ロス削減、リサイクル活動、マイバッグ運動などを進めるとともに、産直事業やサステナブルな商品の普及を通じて、持続可能な社会づくりに貢献しています。また、組合員参加の学習や体験を通じて、環境について考えるきっかけづくりも大切にしています。 2. 子どもたちが「体験」を通して学び、成長できる機会づくりにも力を入れています。職場体験やキッズ店長、社会見学、交通安全教室など、実際に見て・触れて・感じる企画を通じて、食や仕事、地域社会への理解を深める取り組みを行っています。これらの体験は、親子での参加を大切にし、家庭や地域での学びにつながることを目的としています。		1. CO_2削減や食品ロス削減、リサイクル活動、マイバッグ運動などを、参加型の学習や体験を通じて進めることで、共通のテーマをもとに人と人とがつながる機会を生み出しています。環境という身近な課題について一緒に考え、行動する場があることは、地域や組合員同士のつながりを育み、日常の中での孤立感の軽減につながります。 2. 職場体験やキッズ店長、社会見学などの体験型企画を、親子参加を基本として実施することで、家庭内・地域内のコミュニケーションやつながりを広げています。子どもだけでなく保護者同士が交流するきっかけにもなり、子育て期に起こりやすい孤立の防止や、地域の中で支え合える関係づくりにつながる取り組みです。	幼児から高校生まで、幼児から小学生までは保護者も一緒に参加可	1. 制限なし 2. 1回につき5名～20名	1. 30分～60分 2. 60分～90分	神奈川県全域　但し、2で「キッズ店長は、ユーコープの店舗がある地域のみ」	希望に応じる。　但し、2で「キッズ店長は、ユーコープの店舗で実施」	1.企画・運営の調整 組合員活動委員・エリアコーディネーター・職員による企画立案、関係者調整、当日運営 2.場所の確保 店舗、コミュニティルーム、集会室など自組織施設の提供・調整 3.参加者募集・周知 組合員ネットワーク、機関誌・チラシ・Web等を活用した周知、参加呼びかけ 4.人的対応 組合員・職員による当日の進行補助、見守り、簡易なサポート 5.物品・商品の手配 宅配・店舗事業を通じた商品・試食品・必要物資の準備 6.安全配慮・保険対応 組合員活動傷害事故・見舞金制度など、既存の安全・補償制度の適用	参加者への周知・声かけ、会場（会議室等）の提供、専門的知見や人的協力、地域関係機関とのつなぎ、広報面でのご協力をお願いしたいと考えています。	無料	市町村（福祉・地域支援・子育て・高齢者担当部署） 社会福祉協議会 地域のNPO・市民活動団体 地域包括支援センター 学校・放課後児童クラブ・子育て支援施設 地域の企業・事業者　等	・地域の実情や対象者に近く、必要な支援につながりやすいため （孤独・孤立のリスクを抱える方への気づき・つなぎが可能） ・既存のネットワークや信頼関係を活用できるため （行政・社協・NPO等が持つ地域基盤との相乗効果） ・参加者への周知・声かけを広く行えるため （ユーコープ単独では届きにくい層へのアプローチ） ・専門的な知見や経験を共有できるため （福祉、子育て、高齢者支援等の分野） ・地域全体で支え合う仕組みづくりにつながるため （単発ではなく、継続的な関係構築を目指せる）	12月以外	生活協同組合ユーコープ　かながわ県本部 西尾・堀井	横浜市中区桜木町1-1-8　日石横浜ビル23階 電話番号　045-305-6116	https://www.ucoop.or.jp/	
3	公益社団法人かながわ福祉サービス振興会	「県民とともに創る新しい公共」を理念に、様々な事業を通じて地域福祉の増進を目指す	様々な活動を支援する、あるいは公益的な活動に取り組むための資金の調達（研究中） NPO法人等の経営支援に係るノウハウ	様々な地域福祉領域を中心とした資源（人材、情報ネットワーク、教育、支援など）	相談に応じます。	https://www.kanafuku.jp/	主に内閣府孤独・孤立対策担い手育成支援事業（令和６・７年度実施、８年度以降も予定） 1）教育プログラムの実施 2）活動団体等への（伴走）支援 3）孤独・孤立対策推進フォーラムの開催 4）モデル地区を設定して地域づくり推進プログラムの実施	事例や協議体、フィールドワーク等を通じて地域の様々な取り組みを推進することで、孤独・孤立対策に係るゼロ次予防（未病）への対策 1）地域住民や活動者、活動団体等を対象とした講座を行い、修了者に対してのネットワーク構築や伴走的支援につなげていく 2）上記修了者や既に活動している方々に対して経営等も含めて支援していく 3）当会独自の「かながわ福祉サービス大賞」と一体的に実施して、先駆的な活動を行っている活動者等の発掘と照会を行って機運を高めていく 4）伴走支援からモデル地区を見出して、当該地区に対して地域づくりの介入を図っていく	③当該連携により、事業主体が支援等する対象者の孤独・孤立対策が図れるため		1）経営に係る学識を有する方、地域福祉や孤独・孤立対策等に係る学識を有する方など 2）同上 3）基調講演の講師、応募する活動者・活動団体等 4）上記1）～3）と同様	1）開催毎に20～30名 2）３～５団体を想定（年間） 3）講師は1名、応募者は無制限 4）１～２地区を想定（年間）	1）１回につき２～３時間（１講座につき３～５回） 2）必要に応じて 3）講師は1時間～１時間３０分、応募者は発表の場合１５分 4）必要に応じて	横浜市内をはじめ神奈川県全域（各地域毎）を想定	県内外の様々な研修施設・会議室等	経営の支援以外は概ね対応可能ですが、より深い詳細な情報を持った取り組みとするためには、多くの機関の方々との連携が必要です。	講義を実施可能な会場のご提供や、支援のための様々な学識	相談に応じさせていただきます。	社協様をはじめ地域福祉・共生社会等の推進団体、経営に関する学識やコンサルティング能力を有する方、医療・福祉等に係る職能団体、各企業など	充実した支援としたいため、ひいてはゼロ次予防として活動者をはじめすべての地域住民に孤独・孤立対策の担い手となって頂きたいため	通年	長田　泰史（おさだ　やすし）	045-514-1183（直通） ①ckyoseid@kanafuku.Jp ②osaday@kanafuku.Jp	別添のとおり	
4	ユニバーサル就労支援事務局	「働きたいけれど働けずにいる方」の就労支援を行っています。	就労を希望しているものの、経験の少なさや自信のなさから、すぐには就労に向かえない方も多くいます。そういう方が、まずは社会参加できる場（ボランティア活動やイベント等への参加）や、職場体験できる場、また短時間から働ける場などがもっと必要だと感じています。	社会福祉法人中心会の施設（高齢者介護施設、児童養護施設）で職場体験、実習ができます。実習受け入れに慣れた職員が多く、ユニバーサル就労支援担当者がサポートやアセスメントもできるので、どんな方でも参加しやすくなっています。		http://www.chusinkai.net/universal/	「社会とつながりたい方」のための「ユニバーサル社会参加支援」	社会とのつながりが希薄な方、ひきこもりがちな方などに、希望や適性をもとに最適な社会参加の方法をみつけてつなぐ。就労支援のノウハウをもとに、その方の強みやモチベーションを引き出し、その方がやりがいを感じていきいきと活動できる場とマッチングする。必要ならその方に合わせて活動先を開拓する。	③当該連携により、事業主体が支援等する対象者の孤独・孤立対策が図れるため		社会とのつながりが希薄な方、ひきこもりがちな方、もっと人との接点を増やしたい方、活動する場所が欲しい方、自分の力を何かに発揮したいと思っている方など	何人でも	活動内容による	神奈川県内全域		相談者の方への面談対応。マッチング先との連絡、連携。活動場所の開拓。相談者の方への活動サポート。	ボランティア活動、イベントの手伝い、職場での体験、地域活動など、社会参加できる場、機会の提供。		ご理解ある企業、法人、団体どこでも	どのような企業、法人、団体でも、活動の場所や機会をいただける可能性があるため	いつでも可	伊藤　早苗	090-1215-5160		
5	株式会社OTERA	逗子葉山・横須賀・鎌倉を中心に介護保険外の自費サービスならびに、携帯で使える無償の見守りアプリを提供しています	・実際のサービス利用者の満足度は非常に高いものの、支援を必要とする方（頼る先がない方）への認知が難しい状況です。また、高齢者の困りごとを解決する地域サポーターの増員	・介護保険外の多様なニーズに対応する生活サポートサービス。　・地域共助人材（担い手）の発掘と組織化ならびに、個人の利用者や地域事業者に限らず、お困りの方がいらっしゃった際に、困りごとを解決する地域共助人材（担い手）を繋ぐマッチングシステム。　・ICTを活用した安否確認・見守りDXの仕組み。	・特になし	https://otera.co.jp/mamoruba/life https://otera.co.jp/mamoruba/apps	「制度の狭間」を埋める、地域サポーターと創る生活支援	介護保険など既存の制度ではカバーしきれない、高齢者の「ちょっとした困りごと」を解決します。私たちの強みである、地域に眠る多様な人材を「担い手（地域サポーター）」として創出する仕組みを活かし、持続可能な支え合いの地域づくりに貢献します。	①当該連携により、参加者同士、参加者と事業主体等との交流が図られることで、孤独・孤立の解消につながるため		公的な支援が届きにくい、「制度の狭間」にいる高齢者や、そのご家族。	決まったものはございません	決まったものはございません	県内全域	決まったものはございません	・担い手の創出と組織化：地域サポーターの募集、研修、管理・需給マッチング：支援を必要とする方とサポーターを繋ぐシステムの提供 ・サービス提供：介護保険外の多様なニーズに対応する生活サポートの実施	このような支援を本当に必要としている方々へ情報を届けるための、サービスの認知拡大にご協力ください。（例：貴団体ご利用者様へのご紹介、広報物設置など）もしくはサポーター（地域の担い手）の募集に際しての広報活動にご協力ください	連携自体に費用は発生しません。（利用者様がサービスを利用する際は、実費負担となります）	・生活協同組合パルシステム神奈川 ・生活協同組合ユーコープ ・基礎自治体	・発信力があり、支援が必要な方へ迅速に情報を届け、困り事の解決ならびに、地域に新たな「担い手」を共に創出できると考えたため。	決まったものはございません	武田啓	info@otera.co.jp	https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000007.000147307.html	
6	特定非営利活動法人ことさんち	『知る』ことから始まる、様々なかたちの親子が特別視されることなく生きやすい社会をつくるための多方面からアプローチした活動	自身の出自や環境などの背景が特別視されるため、本来の自分を隠し過ごすことで孤独を感じる方がいます。親も子もその孤独感・孤立感は同様です。存在と良さを知らせる場で特別視が無くなり、同じ境遇同士が繋がることで孤独を解決することに繋がります。孤立解決のための『知る』『知らせる』場をさがしています。	当事者からの発信…養子縁組親子・養育里親子・ひとり親等の様々な方からの意見発信 知識…子育て関係・児童養護や人権関係の講義講習 イベント等の企営営・連携内容の柔軟さ	事例ごとの個別判断	https://cototsukuri.com/news/	・多様性を発信するパネル展 ・連携相手と互いの発信ができる相乗効果のあるイベント等の開催 ・講義講習の場(企業の社員向け人権講習・社会的養護についての講義など)	［いろんなかたちの親子展］ https://cototsukuri.com/oyako-ten/ イベント　ことさんちフェスタ https://cototsukuri.com/cotosanchi-festa/	①当該連携により、参加者同士、参加者と事業主体等との交流が図られることで、孤独・孤立の解消につながるため		誰もが対象	・イベント開催は企画内容次第で相当数の参加を計画することができる ・講義講習　対象によって内容を考案するため人数規定なし	内容に応じて調整可能	県内全域	パネル展…人の往来のある屋内 イベント…指定無 講義講習…指定無	・展示パネル ・講義資料	・団体と活動の周知啓発場所や機会 ・パネル展・周知イベントの開催場所提供 ・2026年5/9(土)開催、法人設立記念イベントへの協賛・グッズ作成などの協力等 https://cototsukuri.com/cotosanchi-festa/	内容ごと個別に相談	・各市町村 ・企業 ・学校	幅広い範囲＝多くの方を対象とした活動が可能となるため	いつでも	じつなり	npo.cotosanchi@gmail.com	別添のとおり	
7	株式会社ツルハ	管理栄養士の資格を活かし、お客様のQOL向上に寄与する	ドラッグストアにおける管理栄養士の認知不足や、資格や専門性が十分に活かされていないことが課題です。多様な関係機関と連携し、地域住民への栄養・健康指導や啓発活動を通じて、管理栄養士の役割を周知するとともに、人と人とのつながりづくりや孤独・孤立対策への貢献が期待されます。	弊社が有する管理栄養士や店舗スタッフなどの人材、全国の店舗ネットワーク、健康測定器やサンプル、栄養・健康に関する知識・ノウハウ、地域でのイベント実施機会を活用することで、地域住民同士の交流や情報提供を促進し、人と人とのつながりづくりや孤独・孤立対策の解決が期待されます。		https://www.tsuruha.co.jp/service/nutritionist/ https://tsuruha-recruit.jp/category/kanrieiyoushi-info/	・無料相談会、測定会 ・管理栄養士による栄養セミナー	通常、店頭にて不定期にはなりますが測定器を用いお買い物に来てくださるお客様へ無料で測定会を行っております。 お買い物ついでに健康への気づきを与え、地域のお客様の健康をサポートするための場を提供しております。		店頭でも実施はしておりますが、まだまだ地域の方々へのアプローチが少なく、外部との取り組みが増えることでドラッグストアに管理栄養士がいることの認知が広がり、【病気になる前にツルハへ相談しよう】と思ってもらえる管理栄養士の存在を目指しております。	乳児～高齢者まで			神奈川県（店舗が近隣にある地域を希望）	測定会やセミナーが実施できるスペースがあればどこでも可	・管理栄養士による栄養相談・栄養指導・測定会 (熱中症セミナー、ベビー相談会、スポーツされる方へ向けて鉄分セミナー等実施経験あり。) ・測定器(骨ウェーブ、ベジミル、体組成計、血管年齢測定器)などの用意 ・運営のための人員 ・測定会、相談会参加者へのサンプル配布	セミナーや相談会・測定会の実施可能な会議室の用意 （スクリーン・プロジェクターがあるとありがたいです）	・会議室等は無償で貸し出し頂きたいです。 ・講師謝礼、交通費等、費用負担はございません。	・市町村 ・子ども食堂 ・老人施設等 ・福祉協議会		いつでも	荒川　ゆい	070-7405-2801 arakawa67193@tsuruha.co.jp		
8	NPO法人はたらくらす	街づくりコーディネーターとして、子育て支援事業や教育事業、人材育成等を行っている	川崎市幸区を中心に活動していますが、今後は拠点を広げたいと考えています。現段階では活動が十分に知られておらず、当団体の教育的価値を多くの方に知っていただくことで、同じ理念を持つ団体とつながり、協力者が増えることを期待しています。 継続的な事業運営に必要な運営費の安定的な確保。現在は助成金や寄付、ボランティアによる支援により活動を継続しておりますが、事業拡大や安定運営の観点から、中長期的な資金基盤の強化が必要であると考えています。	育児経験者や元保育士、教員、助産師など多様な専門人材と、コトニアガーデン新川崎という活動拠点での子育て支援の運営ノウハウを有しています。また、月１回のフリースクールでは、現支援級のサポート教員であり、勇気づけ親子共育コーチのスタッフが子どもとその保護者に安心の居場所を提供。子どもと多様な人材と地域のつながりにより、保護者と子どもの孤独・孤立解消に寄与しています。	・当日運営の人材 ・運営費用の寄付 ・サポーター出店		青空子育てひろば@コトニアの運営サポーター	コトニアガーデン新川崎にて「青空子育てひろば@コトニア」を月１回開催しています。育児経験者、元保育士、ボーイスカウト経験者がスタッフとして、現役助産師、大手企業のボランティア、大学生ボランティア、地域のフォトスタジオ、ハンドメイド作家、地域で活動するボランティアなど、多様な背景を持つ人材のサポートの上、【子育てはたくさんの手と笑顔で】を合言葉に、保護者と子どもが安心して交流できる場を提供しています。	①当該連携により、参加者同士、参加者と事業主体等との交流が図られることで、孤独・孤立の解消につながるため		・子育て中の親子（特に0～3歳の乳幼児） ・地域のシニア層	目標 ・平日 30組程度 ・土曜日 60組程度 現状 ・平日15組程度 ・土曜日25組程度	・10時半から13時半の３時間程度（前後の準備に追加時間あり）	・コトニアガーデン新川崎（川崎市幸区）	・コトニアガーデン新川崎（川崎市幸区）	・開催場所・遊具・玩具 ・当日運営スタッフ２名	・資金援助 ・ボランティアスタッフ		・ベビーフードや粉ミルクなど、乳幼児向けの商品を扱う企業 ・子育て世代向けの商品を扱う企業 ・地域のシニア層向けの商品を扱う企業	企業が子育て世代やシニア層に寄り添う形で関わることで、気軽に立ち寄れる場で情報を受け取ったり、人とつながる機会を得られ、孤独や孤立の予防につながる。	年10回開催	薬師寺	hatarakurasu.gigyou@gmail.com	https://hatarakurasu.org/classification/blue-sky-children-square/	
9	特定非営利活動法人　鎌倉あそび基地	フリースクールLargoと学童保育ふかふかの運営	地域の中に子どもが安心できる居場所を継続していくためには、多様な関係機関の連携が必須となります。困っている子どもがいれば、学校や行政に相談し連携する、役に立ちそうな活動をしている他の団体を紹介する、など社会資源を最大限活用して支え合っています。かながわつながりネットワークと連携することで、より有用な課題解決が実現できると思います。	人材では、20名近いスタッフ、在籍している子どもたちとその家族、OBOG　100名以上のサポーター、心理師、ボランティア、地域の人々、学校の教員、SW、行政の方々など様々な人と共に活動しています。施設は、開放的で木の香りに囲まれて、様々なハンモックで癒される場所となっていて、団体として10年間の蓄積された運営ノウハウも持っています。	講師料２万円と交通費実費	https://fukafuka-kamakura.com/	講座「不登校と校内フリースペース支援について」	県の教育委員会と運営してきた、不登校情報サイト「キミイロ」や親子支援を通して見えてきたこと、小中学校のフリースペース支援を通して知り得た現状、不登校支援について大切なことなどをお話しさせていただきます。	不登校状態にある子どもと保護者は、学校や地域から切り離されて、孤独・孤立を深めるという現状があります。それらを周囲が理解をすることで、孤独・孤立の予防や軽減を、支援を通して進めることができます。		不登校や校内フリースペース支援に関心のある方	何名でも可能	1時間30分程度	県内　（要相談）	どこでも可能　（要相談）	講師とＰＣ	プロジェクター、マイクがあれば	講師料２万円と交通費実費をお願いしたいです	興味・関心を寄せてくださる団体		要相談	スタッフ　落合礼子	largo@fukafuka-kamakura.com	不登校情報サイト キミイロ　https://kimiiro.education/	
10	NPO法人ぴあっと	発達障害・知的障害のあるお子さんとそのご家族支援	発達障害や知的障害のある子どもと家族は、支援制度や相談先が分かりにくく、悩みを抱えたまま家庭内で孤立しやすい状況があります。また、教育・福祉・医療・地域の情報や支援が分断され、必要なつながりに届かない課題があります。多様な関係機関が連携し、顔の見える関係を築くことで、孤独・孤立を防ぎ、安心して相談・参加できる地域づくりが求められています。	当法人は、発達障害や知的障害のある子どもと家族、福祉事業所、学校、行政、専門職との継続的なネットワークを有しています。また、地域の支援情報を集約した情報サイト運営のノウハウ、家族の声を丁寧に聴き可視化するヒアリング力や情報整理をする力、出前授業の実践経験があります。これらの人的・知的資源を活かし、立場を越えたつながりづくりを推進できます。	事例ごとの個別判断	https://npo-piatto.jp/	発達特性の理解につながる出前授業	発達に特性のあるお子さんが多く抱えている、感覚の過敏さと鈍感さに焦点を当てた授業を行う。	②当該連携により、参加者の孤独・孤立又は孤独・孤立と関連する事項の理解が深まることで、孤独・孤立対策の機運醸成が図れるため		県内の児童・生徒を始め、教職員、市町村・社協職員、民生委員等、特性のある子どもたちを理解したい方、どなたでも	各回20名程度～（目安）	各回１時間程度	県内全域	教室・会議室等	講師、授業実施のための人員、授業資料	授業を実施可能な教室・会議室等の用意 スクリーン・プロジェクター、もしくはPC画面を投影できる大型モニターなど	・教室・会議室等は無償で貸し出しいただけるとありがたいです。 ・交通費は実費、講師謝礼は人数・規模により相談とさせてください。	県内の市町村・社協等	まずは、発達障害児やその家族から相談を受ける立場の方々に、当事者の感じ方を知っておいていただきたいため。	いつでも	五十嵐　舞子 杉山　千恵	042-816-3050 info@npo-piatto.jp	https://npo-piatto.jp/demaejyugyou_2025/	出前授業以外に、「発達情報サイト『みかた』への、イベント情報の掲載」も可能です。 発達障害・知的障害に関するイベントや、発達障害児とご家族向けのお知らせなど、周知を希望される情報を、情報サイトに無料で掲載することができます。
11	特定非営利活動法人コドモノトナリ	大人も子どもも垣根を外して手を取り合えるみんなの居場所	課題を抱える子どもや親、家庭との繋がり方に課題を感じている。	事業内容としては、乳幼児一時預かり、学童保育、フリースクール、こども食堂、遊び場づくりなどを実施している。孤立子育てで大変な親子、学校に行けない子ども、放課後居場所のない子ども等と繋がることができれば、居場所として一つの選択肢となることができると考える。		https://kodomonotonari.com/	地域の子どもや親の居場所づくり	現在NPO法人コドモノトナリで実施している事業そのものが、地域の子どもや親の孤独・孤立対策となっている。乳幼児一時預かり、学童保育、フリースクール、子ども食堂、遊び場づくり等を引き続き実施すること。	①当該連携により、参加者同士、参加者と事業主体等との交流が図られることで、孤独・孤立の解消につながるため		地域（主に横浜市都筑区、緑区辺り）の子ども、親	乳幼児一時預かり→乳幼児8人までとその家庭（平日） 学童→２０名程度（平日） フリースクール→１０名程度（平日） 子ども食堂→30食程度（毎週月曜日夜） 食育講座、防災イベント→６０名程度 遊び場づくり→問わない（月に一回程度）	乳幼児一時預かり→９時から１８時（平日） 学童→９時から１８時（平日） フリースクール→９時から１８時（平日） 子ども食堂→１７時半から１８時半（毎週月曜日夜） 遊び場づくり→１２時から１７時（月に一回程度）	横浜市都筑区、緑区辺り	NPO法人コドモノトナリ 横浜市都筑区池辺４３２８－２	先述事業	連携先とのコミュニケーション 運営形態の学び合い 困難を抱える家庭に紹介していただくこと	必要に応じたやり取りにより	各地域で活動する団体さんや行政さん	適切に協力し合いたいため	常時	藤間啓吾（NPO法人コドモノトナリ）	045-507-4528	https://kodomonotonari.com/	
12	ケアラーズカフェ　モンステラ	「住み開き」にて多様なケア ラーの孤独や高齢者の孤立を防ぐカフェでの拠点づくり	ケアラーは、介護や子育て、仕事との両立などで日常的に時間や気力の余裕がなく、カフェの存在を知っていても「行くまでの一歩」がハードルになります。高齢者等の行政や包括支援センターなどとの連携を図ってきましたが、担当者の異動や制度変更によって、築いた関係の継続が困難になり、つながりが不安定になる事が課題。モンステラでは「一息つける場所」や「同じ立場の人と出会う場」ですが、存在を知られにくいことが課題。	①ケアラー・ワーキングケアラー・ダブルケアラーの孤独・孤立を防ぐための出張ケアラーズカフェ　②ヤングケアラーについて知る・学ぶ・支えるセミナー　・講義・ヤングケアラーの日常を理解するための寸劇 ・当事者の体験談など □所要時間90分～120分(要相談)	事例ごとの個別判断	https://gallery-monstera.amebaownd.com/	「出張ケアラーズカフェ」＆「ヤングケアラーについて知る・学ぶ・支えるセミナー」	①ケアラー・ワーキングケアラー・ダブルケアラーの孤独・孤立を防ぐための出張ケアラーズカフェを実施 ②ヤングケアラーについて知る・学ぶ・支えるセミナー実施	連携により、参加者の孤独・孤立又は孤独・孤立と関連する事項の理解が深まることで、孤独・孤立対策の機運醸成が図れるため		公的な支援が届きにくい、「制度の狭間」にいる高齢者やそのご家族。	各回10～20名程度	各回　90分～120分	県内全域	県内の企業・市町村・社協等の会議室	講師、講座運営のための人員、講義資料	・団体と活動の周知啓発の開催場所提供 ・講義を実施可能な会議室の用意 （スクリーン・プロジェクター、Wifi環境があるとありがたいです）	・会議室等は無償で貸し出し頂きたいです。 ・講師謝礼、交通費等、費用負担はございません。	県内の企業、市町村・社協等	セミナーで受講された方が地域の方への孤独・孤立の担い手となっていただきたいため	ご希望日を伺い調整させていただきたい	山田　由美子	TEL：042-749-8527　Mail:gallery_monstera@yahoo.co.jp	https://gallery-monstera.amebaownd.com/	
13	合同会社samasama	社会課題当事者のSOSと支援者を繋ぐ無料WEBアプリ"明日もsamasama"で、情報格差・支援組織側の壁を越えた社会的包摂の実現を目指す	2026/4/19にβ版を公に出したばかり、かつ広告宣伝費をかけない方針の為、利用者（SOSユーザー、サポーター）が少ない状況。 一方、SOSユーザー（社会課題当事者）には貧困、孤立、病気、差別、教育、就労、栄養不良、介護ケア等々が含まれるため、「潜在的SOSユーザー」は多数存在する。そういった方々が本アプリを通して支援に繋がるためには、サポーターの登録数がまずは重要である。 潜在サポーターには、かながわつながりネットワーク構成員の皆様も該当。サポーターはSOSユーザーに対して、アプリ内でマッチングした後、すぐに直接の支援を実施可能。	WEBアプリ"明日もsamasama"の提供	無償	https://www.samasama.site/	社会課題当事者のSOSと支援者を繋ぐ無料WEBアプリ"明日もsamasama"で、情報格差・支援組織側の壁を越えた社会的包摂	「明日もsamasama」は、助けを求める人（SOSユーザー）と、支援したい人（サポーター）を結びつけるWebアプリケーションである。SOSユーザーが困りごとを登録すると、システムが内容を解析し、最適なサポーターへ情報をルーティングする。マッチング成立後はプラットフォーム内で安全にメッセージを交換し、課題解決後にはサポーターに「感謝バッジ」が付与され、支援実績として可視化される。社会課題を手触り感のあるものとすることで、人々の中で表出しにくくもなっている無償の愛を掘り起こし、社会全体で社会課題に立ち向かうムーブメントを起こす。	①当該連携により、参加者同士、参加者と事業主体等との交流が図られることで、孤独・孤立の解消につながるため		日本全国の行政職員、公的機関職員、NPO職員、NGO職員、プロボノ弁護士、企業社員等	無制限 （SOSユーザー１名に対して、１～２のサポーター団体が都度支援を実施）	場合による （SOSユーザーとサポーター間のチャット等やり取りの内容次第）	県内全域 （日本全国の対応可能だが、神奈川県下においてパイロットエリアとしたいため）	オンライン（アプリ内）または／およびサポーター・SOSユーザー間で直接合意した物理的な支援場所	WEBアプリ"明日もsamasama"の提供	WEBアプリ"明日もsamasama"における；- - サポーターへのご登録 - サポーターとしてのご活動	無償	神奈川県内の行政職員、公的機関職員、NPO職員、NGO職員、プロボノ弁護士、企業社員等 （日本全国の同上役割の方々も歓迎）	神奈川県全域をパイロットエリアとするには、神奈川県内の多数のサポーターが登録している状態が、SOSユーザーへの早期の支援・質の高い支援に繋がるため	いつでも	久保　悠貴	050-3442-4077 samasama@bird.ocn.ne.jp	https://app.samasama.site/	

↓団体概要等のみを掲載する団体

1	特定非営利活動法人ナレッジ・リンク	生活困窮者等の自立に寄与する取り組みとして、生活困窮者自立支援制度における就労準備支援事業、就農訓練事業、就労訓練事業を実施しています。あわせて、就労訓練の場として、飲食店３店舗と農場の運営も行っています。 運営している喫茶室ノスタルジーでは、子ども食堂・認知症カフェ・介護喫茶・若年認知症家族の会・まねきカフェ（地域の居場所）など、複数の団体と連携しながら、定期的なイベントの主催や協力を行っています。	支援ニーズの多様化により、医療的支援や深刻な心理・精神面の課題を抱えるケースなど、単独では対応が困難な領域がある。	・飲食店・農場を活用した就労訓練の機会 ・就労準備から職業紹介まで切れ目なく支える支援モデルに基づく、生活困窮者支援のうち、主に就労支援に関する知見。 ・喫茶室をイベント開催会場などとして提供する取り組み。	事例ごとの個別判断																				
2	公益社団法人アマヤドリ	家族を頼ることが難しい 15歳～29歳の若者をサポートしています。	「助けて」と声を上げることは勇気がいることです。「辛くて厳しい状況をにいるけど、相談できない」「自分が、支援を必要とする状況にあると気づいていない」など、支援が届きづらく困窮している若者がいます。地域の方々や若者の周りにいる大人がアマヤドリと存在を知り、必要と感じたら伝えていただくことで、より多くの若者が「相談してみようかな」「相談していいんだ」と行動に移せるのではないかと考えています。	アマヤドリでは「チームで支援すること」を大切にしています。１人の相談者に対して、複数名の相談スタッフで関わることで、見立てや支援の方向性・対応をさまざまな視点から思案します。その中で、本人の希望があれば、他団体や行政との連携も積極的に行っていることで、１人のスタッフや１団体に依存するのではなく、信頼できる大人を増やしていく体験ができるように支援しています。		https://www.amayadori-official.net/					家族を頼ることが難しい15歳～29歳の若者											事務局	info@amayadori2020.com	https://www.amayadori-official.net/	
3	株式会社共創	地域資源循環で人と地域をつなぐ活動	廃食油回収を通じた地域の接点づくりを進めているが、支援を必要とする孤立しがちな方々へ直接情報が届きにくいことが課題。環境・福祉・教育・地域団体等との連携により、活動参加のきっかけや居場所につなげる導線を強化し、地域全体で孤独・孤立の予防と早期発見につなげる仕組みづくりが必要と考えている。	廃食油回収ネットワーク（家庭・飲食店・学校・地域団体）、小学校との総合学習連携実績、地域イベントや回収拠点という"人が集まる場"の運営ノウハウ、環境活動をきっかけに参加しやすい仕組みづくりの経験。子どもから高齢者まで関われる活動設計と、寄付循環を通じた地域団体とのつながりが資源。																					
4	わってらか	子育てと地域をつなぐ常設のまちの居場所 - 子育てと暮らしを安心で楽しく -	常設のまちの居場所だからこそ、気軽な立ち寄りができ、初めてや一人の方、繰り返しの方ともに増加（子どもと大人の来訪数延べ212名/月）。地域に知り合いがいないという親子、学校にいきづらいこども、発達等育児の不安を抱える親子も来訪。子育てに関わる方、こども、移住者、作家、出店者、地域の人など居合わせた人の多様なつながりを育んでいる。遊びの見守り、育児相談、情報交換、楽しい企画など輪が広がっている。	子育てと地域をつなぐ常設のまちの居場所づくり、小田原のまちの場・人とのつながりから育んできた活動、多様な経験を持つスタッフがつなぎ手となる取り組み（まちづくりコーディネート、子育て・子ども支援・教育、福祉、地域活動等）																					
5	茅ヶ崎市	福祉部地域福祉課の福祉総合相談担当では、地域共生社会の実現のため生活困窮者自立支援制度と重層的支援体制整備事業を活用し、個別の相談支援から地域づくり支援まで一体的に取り組んでいます。	介護・障がい・子ども・生活困窮等の各分野で行われている既存の社会参加に向けた支援では対応できない本人や世帯のニーズ等に対応するため、地域の社会資源などに協力いただき新しい社会とのつながりづくりに向けた支援を実施したい。	・地域の福祉団体とのマッチング ・個別ケースのマッチング		https://www.city.chigasaki.kanagawa.jp/fukushi_chiiki/1004415.html https://www.instagram.com/boradasu/			①当該連携により、参加者同士、参加者と事業主体等との交流が図られることで、孤独・孤立の解消につながるため													福祉部地域福祉課　福祉総合相談担当	0467-81-7152 chiikifukushi@city.chigasaki.kanagawa.jp	https://www.city.chigasaki.kanagawa.jp/fukushi_chiiki/1004415.html https://www.instagram.com/boradasu/	